



子ども居場所づくり推進事業

平成16年度～18年度(3カ年)



近年家庭を取り巻く状況の変化の中で、家庭教育への支援が重要になってきています。地域全体で学びあつて、家庭の教育力の向上を図るような学習や方策が検討されています。

都留市においても、東桂・禾生・谷村地域に展開する「協働のまちづくり」との連携を図りながら、地域で子どもを健全に育てていく観点から、今年度より、『子どもの居場所づくり推進事業』を展開することになりました。

平成16年度はモデル地域として東桂地区において『桂子ども教室』として取り組みを始めています。

地域の大人たちや大学生が安全管理・指導のためのボランティアとして協力し、放課後や週末に小中学生を対象に校庭・教室・コミュニティセンターなどを開放し、子どもたちがスポーツや文化活動、体験活動ができる活動拠点を設けています。

『桂 子ども教室』には6つの教室があり、下記教室写真以外に、囲碁・将棋教室(日) 絵画・絵手紙教室(日)があります。どの居場所教室も遊びながら楽しく学べます。

平成16年度は、東桂地区に居住している小中学生を対象としてますが、随時募集して

います。

『子どもの居場所づくり推進事業』は順次市内の他の地域にもすすめていきます。

申込・問合せ

教育委員会

生涯学習担当



ものづくり教室(土か日曜日)



開校式



料理教室(土曜日)



遊び教室(週1回)



自然体験教室(土か日曜日)

「父と母で二人、父と母の両親で四人、そのまた両親で八十代前では千二十四人。二十代前では……？」

なんと百万人を超すんです。過去無量のいのちのバトンを受けついで、いまここに自分の番を生きている。それがあなたのいのちです。それがわたしのいのちです。」

これは相田みつをさんの詩です。自分がこの世に生を受けるまでに過去何万人もの「命のバトン」を受けついでいる。指摘されれば確かにそのとおりです。その命のバトンが途切れなかったからこそ、私たちが今ここに生きているのです。遠い過去において祖先の出会いが一つでも違っていたら、私たちはこの世に存在していただいでしょうか。そう考えると、私たちがこの世に生を受けたのは、まさしく奇跡にちがいありません。だからこそ私たちは、これから未来に生まれてくるであろう子孫のために、この命を大切に生きなければならぬのです。



健全育成シリーズ (158) 「いのちのバトン」

「いまここに生かされている命を大切に、精一杯生きてほしい」という作者からのメッセージです。

現代社会をみると、自分の命もそして他人の命もあまりに軽く扱われすぎています。私たちはもう一度生きるという原点に戻らなくてはならないと思います。

何があってもしつかりと生きていくという見本を、大人が子どもたちに見せなければなりません。

「あなたはこうして多くの愛情に包まれて生まれてきたのよ」と話してあげましょう。

成績ばかりが気になり、となりの子に比べてうちの子は：と比較しては叱咤激励を繰り返す毎日。でも生まれた時を思い出しましょう。わが子は天使のように可愛く、どこの子よりも一番輝いていたはずです。「あなたがいまここにこうしていてくれることが最高の幸せ」と伝えましょう。

相田みつをさんはこうも読んでいます。

「いのち、あのね、自分にとって一番大切なものは、自分のいのちなんだよ。だからすべての他人のいのちがみんな大切なんだよ。」

自分を大切にし、同じように他人も大切にする心を育てましょう。

毎月第1日曜日は「家庭の日」 毎月第3日曜日は「青少年を育む日」

青少年育成都留市民会議編集委員